

B A S T L



CINNAMON

取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

CINNAMON

UNIQUE SOUNDING STATE VARIABLE FILTER

BASTL INSTRUMENTSのCINNAMONは、個性的な機能と充実のアナログ・フィルター・サウンドを詰め込んだユーロロック・モジュラーです。基本性能の高さや音質の優秀さに加え、BASTLならではのアイデアを満載した完成度の高いモジュールです。

独立したハイパス、ローパス、バンドパス・フィルター出力を備え、2系統のCV入力でカットオフ周波数をモジュレート可能、入力CVをアッテネーター・ノブで調整することも可能です。

またレゾナンス・ノブは最大付近で発振させることができるため、サイン波形のオシレーターとして使用し、ピッチをCVでコントロールすることもできます。DRIVEスイッチを上側にセットすると入力でオーバードライブとなり個性的なサウンドを得ることもできます。

2つのキャラクター・スイッチは、レゾナンスとフィルターのレスポンスを、より分厚く過激なスクエアまたはノコギリ波形に変化させ、強烈でオーガニックなサウンドを演出できます。

基板上のトリマーで様々なキャラクターの微調整も可能であり、正にマルチ・フレイバーなサウンドを実現できる、個性的でクリエイティブなフィルターです。

Features

- ・ ボルテージ・コントロール対応のカットオフ周波数
- ・ CV入力とアッテネーター
- ・ CV入力(volt/per oct)
- ・ オーディオ入力(w/ゲインコントロール)
- ・ DRIVEスイッチ、フィルター入カステージでのオーバードライブサーキット
- ・ ローパス出力(12db/oct - 2-pole)
- ・ バンドパス出力(6db/oct - 1-pole)
- ・ ハイパス出力(12db/oct - 2-pole)
- ・ レゾナンス・コントロール
- ・ レゾナンス・レスポンスのキャラクタースイッチ
- ・ レゾナンスを最大付近に設定することでオシレーターとして利用可能
- ・ ハンドメイド・エレクトロニクス

Technical details

- 5HP
- 35mm deep
- 消費電流 +12V: <30mA, -12V: <30 mA
- 16ピン・パワー・コネクタ

《重要な注意事項》

本モジュールをユーロラックの電源フレームラックに組み込む場合には、必ず電源ケーブルを電源フレームラックから抜いた状態で行ってください！また接続には必ず付属のリボンケーブルをご使用ください。接続する際はコネクタを接続する向きを絶対に間違えないように、細心の注意を払ってください。必ず複数回確認し、間違いないことをお確かめいただいてから接続するようにしてください。

赤いケーブルがモジュール、バスボード共に-12V側です。

以下を再度ご確認ください

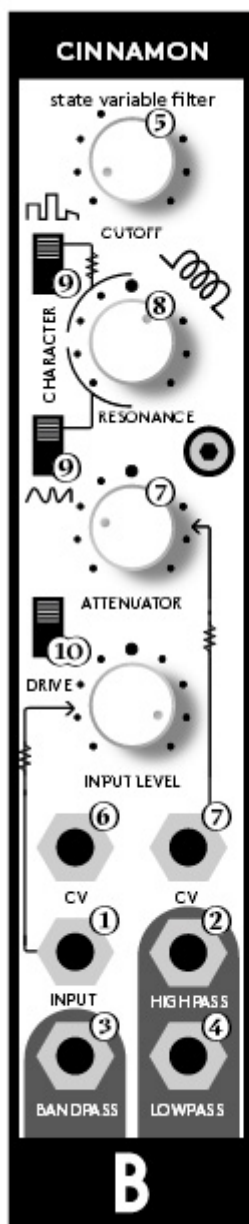
- 1、ラックがユーロラック規格の標準的なものか？
- 2、+12V、-12Vレールのバスボード規格か？
- 3、電源レールは最大の消費電流を超えていないか？

BASTL INSTRUMENTSの製品にはPTCヒューズとダイオードによる保護回路を搭載していますが、間違った接続や使用によるダメージはユーザーの責任となりますので、よくご確認の上でご利用ください。また電源が入った状態で回路や電源バスを手で触れることは、たいへん危険ですので、くれぐれもご注意ください。

B I

Instruction

*以下の操作説明は、各イラスト図（フロントパネル、基板）の番号に対応しています。



B A S T L

Cinnamon

① 入力信号はINPUTからフィルターに送られます。

② ハイパス（ローカット）フィルター出力（HIGHPASS)です。カットオフ・スロープは12dB/oct 2Poleフィルターです。

- ③ バンドパス・フィルター出力(BANDPASS)です。カットオフ・スロープは6dB/oct 1Poleフィルターです。
- ④ ローパス (ハイカット) フィルター出力(LOWPASS)です。カットオフ・スロープは12dB/oct 2Poleフィルターです。
- ⑤ カットオフ周波数(CUTOFF)を調整します。カットオフ周波数はCUT OFFノブの値と、2つのCV入力の値で決定されます。
- ⑥ 左側のCV入力端子は、カットオフ周波数に影響します。1v/octに対応します。正確なCVトラッキングには CHARACTERスイッチをオフにすることをお勧めいたします。
- ⑦ 右側のCV入力端子も、カットオフ周波数に影響します。またアテネーターノブ(ATTENUATOR)でモジュレーションの強さを 0 ~ 100% で調整できます。
- ⑧ レゾナンスノブ(RESONANCE)は、フィルター・レゾナンスを調整します。最大付近に設定することでセルフ・オシレーションさせることができ、サイン波のオシレーター/VCOとして利用できます。
- ⑨ キャラクター・スイッチはレゾナンスのレスポンスに影響します。両方のスイッチが下側に設定されている場合には、レゾナンスのオシレーションはサイン波のキャラクターです。上側のスイッチをオンの状態 (スイッチを上側にセット) にすると、エッジの立ったシャープなキャラクターに変化します。下側のスイッチがオンになるとノコギリ波のキャラクターに変化します。またこれらのスイッチはフィルターのレスポンスも変化させます。このスイッチでの効果は強烈すぎるため volt/oct コントロールが効かなくなることがあります。
- ⑩ 入力ボリューム(INPUT LEVEL)とDRIVEスイッチは、フィルターのレスポンスに大きく影響します。DRIVEスイッチがオフの時には (スイッチが下側)、入力レベルは0~2倍の範囲でコントロールが可能、DRIVEスイッチが有効だと0~10倍に変化します。入力でオーバードライブとなり、スイッチと入力レベルの組み合わせでバリエーション豊かなサウンドを作ることができます。また基板には3つのトリムポットが用意されており、様々なサウンドのキャラクター設定の微調整が可能です。さらに幅広く CINNAMON を活用することができます。
- ⑪ 基板上的volt/octトリマーでフィルターのトラッキングの調整が可能です。

*⑩⑪のトリムポットは最新バージョンでは廃止になっています (実装されていません)

⑫ 基板上的saw octaveトリマーは、下側のキャラクター・スイッチのレスポンスを変化させます。

⑬ 基板上的reso_adjustトリマーは、レゾナンスノブを回しきった時の値をキャリブレートできます。初期設定ではセルフオシレーションした際にピュアなサイン波となるように設定されていますが、より歪んだサイン波レゾナンスに調整することもできます。ドラムサウンドのPinged Filterにも応用可能です。

